



Topics1 自動採点システムについて

令和3年度から県立学校に自動採点システムを導入しています。自動採点システムは選択式問題の採点自動化だけでなく、記述式問題に対しても効率的な採点が行えるとともに、データ集計が採点と同時にされることにより、採点業務・成績処理の業務負担の軽減を図るものです。

自動採点システム使用校では、平均82分の所要時間削減効果が出ています。

① テスト多量集 ② スキャナでPDF化 ③ 自動採点システムで効率的に採点!

同じ設問の解答を一括で表示!!

クリックするだけでOK採点!
※ 文字だけの解答も!

自動採点!

解答用紙のフォーマット自由。
※ 簡単に設定で選択し採点することが可能。

これまでの採点業務から解放!

【自動採点システムの採点機能による効果】
①業務負担軽減 ②時間短縮 ③添削ミス軽減

1. パッと見て正解が多そうなら... 2. すべて「○」にしてから... 3. 「△」と「×」の解答だけクリック!

1. 部分点を見比べたいなら... 2. 「△」の解答だけを並べて比較!

デジタルの良さを活かして
従来の紙のスコアシート採点を実現!

選べる採点モードから
採点のスピードアップを実現!

令和5年度自動採点システム活用状況

システム導入校数	19校
システム使用教科	国語・数学・理科・ 地歴公民・英語・ 家庭・情報・商業・ 農業
従来の採点方法 所要時間平均	206分
システム使用 所要時間平均	124分
削減率	40%

Topics2 働き方改革に関する取組について

教員業務支援員活用事業では、学校の実状に応じた働き方改革の取組を進めていただくために、業務改善検討委員会の開催が必須要件となっています。

業務改善検討委員会で協議をして、実際にどのような取組につながったのか、いの町立学校の取組を紹介します。

伊野小学校では・・・

中教審の緊急提言を受け、全教員から「学校・教師が担う業務に係る3分類・14の取組のカテゴリーで業務改善のアンケートを実施し、結果を「対応済のもの」「対応するもの」「前向きに検討するもの」等に分類し、すぐに対応・改善できるものから取り組んでいます。

枝川小学校では・・・

7月から9月にサマータイム（短縮校時）の導入を行いました。効果と課題について検証を行い、改善を図りつつ来年度以降も継続する予定です。

伊野中学校では・・・

週時間数を29時間、水曜日は5時間授業にして、6時間目の時間帯に集会や職員会、推進委員会等を行うことで放課後の会の削減を行いました。

また、各学年で協議した「業務改善の意見・アイデア」を総括職員会で共有し、取り組んでいます。

【実際の取組例】

校内のさまざまな情報を集約した校内ポータルサイトを
作って活用



働き方改革担当から

「教育の情報化に関する手引き」（R元年12月 文部科学省作成）に「ICT環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠なもの」と記載されています。デジタル技術を文房具のように活用して、業務の効率化を進めていきましょう。

●働き方改革につながる実践例やアイデア等を募集しています。右のQRコードより情報提供をお願いします。→ →

発行：高知県教育委員会事務局教職員・福利課

電話：088-821-4901 FAX：088-821-4725 E-Mail：310601@ken.pref.kochi.lg.jp

